

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハートフェルト			
○保護者評価実施期間	R8年9月1日		～ R8年9月30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	R8年9月1日		～ R8年9月30日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	R8年8月1日		～ R8年9月30日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	R8年10月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象のご家庭すべてから回答をいただき、「いいえ」の回答は1件もありませんでした。	毎回の支援後に報告書を作成し、訪問先施設と保護者の双方へ共有しています。必要に応じて電話や面談も行っています。	支援の様子がより伝わるよう、報告書の記載を具体的にしています。
2	訪問先施設の意向を計画に反映しています。	計画作成前に訪問先施設の担当者と打合せを行い、担任等のご意向を計画に盛り込んでいます。学校訪問の際にも情報共有を行っています。	訪問後に短時間でも振り返りの時間を確保できるよう、事前に調整してまいります。
3	専門職による具体的な助言を行っています。	作業療法士の訪問支援員が、訪問先の先生からのご質問にその場で回答しています。お答えできない場合も、事業所で検討のうえ改めてご連絡しています。	助言の内容を報告書にも残し、担任の先生が後から見返せるようにしてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援を開始して間もない利用が多く、評価をいただける段階に至っていません。	訪問先2か所のうち1か所は支援を開始して間もないことから、今年度の訪問先施設評価は見送らせていただきました。保護者評価でも、支援の回数がまだ少ないご家庭からは判断しかねるとの回答がありました。	継続した支援を重ね、次年度は複数の訪問先施設からご評価をいただける体制にしています。
2	訪問後の情報交換の時間が十分に取れていません。	訪問の直後は訪問先施設も授業等があり、意見交換の時間を確保しにくい状況です。訪問先施設からは、年度初めの支援委員会の開催を希望するご意見をいただきました。	次年度は年度初めに支援委員会を開催できるよう日程を調整いたします。訪問後にも短時間の振り返りの時間を設けられるよう調整してまいります。
3	外部評価機関による第三者評価を受審していません。	受審に要する費用と事務負担が課題となっています。	第三者委員へのご相談を重ね、外部の視点を取り入れる機会を確保してまいります。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ハートフェルト

公表日 R8年10月20日

利用児童数 R8年9月30日 2名

回収数 2名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	1	0	0		放課後等デイサービスの教具教材を併用しているため、保護者の皆さまにはわかりにくい設問だったと思われます。必要に応じて教材を作成していることも、あわせてお伝えしてまいります。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	1	0	0		事業所が狭いため、面談は児童のいない時間帯に行うなどプライバシーに配慮しています。支援の場が訪問先であることから、面接室をご覧いただく機会が少ないことも一因と考えられます。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	0	0	0		
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1	1	0	0		療育経験の長い保育士や専門職を配置しています。体制についてご説明する機会を設けてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	1	0	0		支援の場面を直接ご覧いただく機会が少ないため、報告書の中で支援者の視点がより伝わるよう工夫してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1	1	0	0		計画作成前に訪問先施設の担当者で打合せを行い、担任等のご意向を反映しています。計画の内容について、あらためてご説明の機会を設けてまいります。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	1	0	0		ガイドラインを踏まえて支援内容を設定しています。計画書の記載をより具体的にしております。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	1	0	0		ご要望があれば対応できる体制を整えています。体制があることを、より明確にお伝えしてまいります。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1	0	0		6か月ごとの計画更新時に面談を行っています。更新時以外にもご相談いただける旨をお伝えしてまいります。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1	1	0	0		訪問先施設からの相談には随時応じています。対応の内容が保護者の皆さまに伝わるよう、報告書に記載してまいります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1	1	0	0		毎回報告書を作成してお知らせしています。支援の様子がより伝わるよう、記載を具体的にしております。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0		
非常時の対応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	0	0	0		
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
満足度	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ハートフェルト		R8年10月20日				
		利用児童数			訪問先施設2か所 回収数1	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	0	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	0	0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	0	0		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
年度最初の支援委員会をお願いしたいです。				次年度は年度初めに支援委員会を開催できるよう、訪問先施設と日程を調整してまいります。なお、訪問先2か所のうち1か所については、支援を開始して間もないことから今年度の評価は見送らせていただきました。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R8年10月20日				
放課後等デイサービス ハートフェルト						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		放課後等デイサービスの教具教材を併用できる体制を整えている。必要に応じて教材を作成している	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		必要に応じて、必要な職種の専門職を各施設へ派遣している	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を軸とした意見集約に努め、現場の担当者が働きやすい職場づくりに努めている。訪問支援員と放課後等デイサービスのスタッフで情報を共有し、定期的に同行も行っている	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の評価を重要な指針として捉え、問題があれば迅速に業務改善につなげる体制づくりを心がけている	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援スタッフの意見を重要視している	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	保護者や関係機関の意見を業務改善に取り入れている。令和7年12月の運営指導を受けて第三者委員を選定し、ことあるごとに相談する機会を設けている	外部評価機関による第三者評価は実施していない
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		児童発達支援管理責任者を軸とした初任者への研修や訪問支援同行により、資質向上に努めている。職員研修等も活用している	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		アセスメントと保護者面談を踏まえ、課題を整理したうえで訪問支援計画を作成している	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		各スタッフの意見集約に努めている	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		計画作成前に訪問先施設の担当者と打合せを行い、担任等の意向を計画に反映している。学校訪問の際にも情報共有を行っている	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		情報共有を密に取っている	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		HUGに情報を統一してスタッフ間で共有している	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		提供すべき具体的な支援内容を吟味して支援にあたっている	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に計画に沿った支援を行うよう努めている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心として支援内容等を確認の上、支援にあたっている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に情報共有を行っている	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先ごとの方針を尊重しながら、支援対象児童にとって最善の支援を行っている	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		必ず報告書を作成している	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月ごとのモニタリングに加え、保護者と訪問先の意向を確認しながら、必要に応じて計画を見直している。必要に応じて相談支援専門員とも情報共有している	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者等が中心となり、適切な情報共有ができるよう対応している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて対応できる体制を整えている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行期の支援心がけている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		子ども部会の研修等、機会があれば参加している	
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会こども部会等へ参加している	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		共通理解に努めている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		市や県からの情報を共有し、家族支援を行っている	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先施設には理解・納得いただいたうえで訪問支援を行うよう努めている	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもについては日常の会話等から、保護者については担当者会議等により意向を確認している	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保護者には丁寧に説明を行い、理解・納得の上で支援を行っている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて家族支援の対応も行っている	保護者会の開催方法は保護者の意向を聞いて検討する
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		昨年度はオンライン開催を試行した。放課後等デイサービスと併用している家庭には、放課後等デイサービス側で案内している	今年度は保護者の意向を聞いて開催方法を検討する
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情・相談の受付窓口を設置し、契約時に重要事項説明書で案内している。第三者委員にも直接相談いただける	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		チャット等により情報発信している	
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者等への伝達について個人情報に留意して対応している	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮して対応している	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		支援者の目線で助言や支援を行っている。訪問先の先生からの質問には、作業療法士の訪問支援員がいていないに回答している	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		報告書の共有はもちろん、必要に応じて訪問先施設と連絡を取ったり面談を行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書を作成してお知らせしている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		訪問先施設の個人情報に留意して業務にあたっている	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		安心して相談をいただけるよう、信頼関係を構築している	

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、必要に応じて随時、職員・保護者への周知を行っている	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		常に安全管理に努めている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		チャット等により迅速な情報共有と再発防止に努めている	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を行っている	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要と思われる児童については、組織的な対応として個別支援計画により保護者等の承諾を得て対応する	